

みんなで語り、伝えよう！ 住吉川物語

すみよしがわさんさく 住吉川散策マップ

みんなで探そう！

街の歴史・文化

私たちの街にひそむ歴史を物語る
さまざまな「証し」を散策しながら、街
の成り立ちや昔の人々の生活について
関心を深めてみよう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「住吉川物語」
のモデル散策マップです。裏面で各散策ポ
イントに関する情報を紹介しています。



より詳しい情報を掲載した冊子や
他の散策マップ、散策しながら学
習できるサブノートなどの入手先
は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



私たちの街は、文学作品「細雪」の舞台なんだよ！

私たちの街には、有名な作家、谷崎潤一郎が住んでいました。
大正12年（1923年）、関東大震災に遭った、谷崎は、この地に移り住み、約
20年間この辺りで過ごしました。昭和7年（1932年）には、魚崎町横屋に移り、
昭和11年（1936年）から6年間の出来事を描いた大作「細雪」はここで作られま
した。細雪には、昭和13年（1938年）の阪神大水害の体験が描かれています。



マップの見方

【見学ポイント】

- 「不思議」に触れる見学ポイント
- 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
- 「安全」を考える見学ポイント
- 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント

【移動手段】

●●● 徒歩 (○分：矢印間の移動時間の目安)

【その他】

- 駅
- ≡ 鉄道
- ⊗ 学校
- トイレ

散策ポイント

★ スタート 東灘区役所

- 1 水車の広場
- 2 有馬道の碑
- 3 流石の碑
- 4 文禄三年の石仏
- 5 山田区民館横の水車
- 6 柿の木地蔵
- 7 白鶴美術館 (滞在時間：30分)
- 8 白鶴えん堤
- 9 清流の道公園 (休憩：30分)
『清流の道』散策
- 10 住吉川鉄道トンネル
- 11 ブロンズ像「祈りと復興」(東灘区役所)

★ ゴール 東灘区役所

【問合わせ先】

国土交通省 六甲砂防事務所
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0535
ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/

みんなで探そう！街の歴史・文化 (ポイントの紹介)

○実際に見学した箇所の口印にチェックをしよう！
○口印横の数字は「冊子」の関連ページです。

水車の広場

□ 22,32P

東灘区役所のJR側に、水車の広場が整備されています。これは、私たちの街にかつてたくさんの水車があったという歴史を伝えるために、復元されたものです。



昔は水車がたくさんあったんだ！

文禄三年の石仏

□ 33P

石垣に埋め込まれた古い六地藏があります。その左はしに「文禄三年二月吉日」（1594年）と銘が刻まれています。東灘は、御影石の産出地でありながら、あまり古い石造品が残ってなく、この石仏が区内最古のものと考えられます。



白鶴美術館

□ 34P

白鶴酒造七代嘉納治兵衛氏が収集した美術品を公開しています。所蔵品の中心は中国の古美術品、その他、日本の経巻、書、絵画、勾玉なども含まれています。



開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）
休館日：月曜日、年末年始、お盆

住吉川鉄道トンネル

□ 18～21P

住吉川の下をJR鉄道が走っています。鉄道は普通、川の上を通るものなのに、ここでは逆です。これは、住吉川が天井川であるという特徴と大きく関係しています。



どうして、川の下を鉄道が走っているの？

有馬道の碑

□ 29P

六甲山には、「有馬道」「魚屋道」などの道があり、現在も、登山道・散策路として利用されています。ちなみに、江戸時代から住吉の鉄道駅ができる明治頃まで、甲南山手付近から有馬へと向かう魚屋道を有馬道とも呼んでいましたが、その後、住吉川沿いの住吉道を有馬道と呼んでいます。



山田区民館横の水車

□ 22,32P

住吉川の急な流れは、水車を回す大きな力を生み出し、古くから私たちの街に水車産業を発展させました。山田区民館横の水車は大小2基。樹齢270年の吉野杉で作られています。



水車産業は酒造りを支えていたんだ！
今はどうなっているの？

白鶴えん堤

清流の道公園

□ 52～65P

土砂災害から私たちの街を守る砂防施設の代表例は砂防えん堤ですが、六甲山地には約527基（平成25年（2013年）現在）もあります。こうした直轄砂防事業50周年を記念したモニュメントが「清流の道公園」にあります。



六甲山地の砂防事業は明治から始まって
いたんだ！

ブロンズ像「祈りと復興」

□ 48,50,56,58P

平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災は一瞬にして私たちの日常を奪い去りました。亡くなられた方々への鎮魂とともに、震災の経験を後世に伝えていくために、私たちの街には、こうしたモニュメントや碑が建てられています。



地震から身を守る10ヶ条って、知ってる？

流石の碑

□ 43～46P

私たちの街では、何度も土砂災害が発生し、特に昭和13年（1938年）の阪神大水害の被害は大きなものでした。この災害を忘れないため、流れてきた巨岩を利用した碑が建てられています。碑の高さは洪水位を表しています。



私たちの街は、かつて、土砂に埋まった
んだよ！

柿の木地蔵

□ 32,37P

柿の木の側にあるため「柿の木地蔵」の名で親しまれています。六甲山で切り出した石や水車場からの米の運搬の交通安全を祈って建てられたものです。その他、赤いよだれ掛けをしたお地蔵も見かけます。あれは、亡くなった子どもが身に付けていたものを供養のために着せたそうです。



清流の道

□ 10,20,40P

市内でも随一の清流住吉川の河川敷に整備された片道2.5kmの遊歩道です。川のせせらぎを聞いたり、野鳥を見ながら、のんびりウォーキングをすることができます。



昔は、ダンプ道って呼ばれていたんだよ！

みんなが散策するポイントの周辺には
他にもこんな場所があるよ！

